

アンケートの結果より



- ◆総じて肯定的に評価していただいていることに感謝いたします。「ア：当てはまる」と「イ：おおむね当てはまる」を合わせて「肯定的な回答」とし、両者を足した割合を計算しました。「オ：わからない」という回答を含めて計算した場合、含めずに計算した場合をそれぞれ記しました。
- ◆肯定的な回答の中でもとりわけ（ア）の割合が高かったのは、設問6（自己肯定感の育成について）でした。学級の高まりなどの「宝物」をカプセルに入れる「宝箱」の設置、学年を超えた仲間のよさみつけ、全校放送「キラキラタイム」での紹介、学級担任による毎日の黒板メッセージ、児童の頑張りをたたえる賞状など、さまざまな手立てで子どもたちの自己肯定感を高めようとしています。より多くの子どもたちが自分のことを大切に思えるよう、これからも支援を工夫していきます。
- ◆設問1～3の学習については、授業での大型ディスプレイやタブレット端末の活用が進み、仲間との考え方の交流や、プレゼンテーション発表、一人一人の調べ学習などが深まっています。これまでの一斉授業を中心とした形態から、一人一人の習熟度や興味・関心に応じて個別の学びを充実させる形態へと、授業のさらなる改善を図ることがこれからの中学校の課題だと考えています。また、地域の方々と連携する「ふるさと教育」は蘇二小の大きな特色のひとつであり、来年度も引き続きシニアクラブ、社会福祉協議会、地元の企業など、さまざまな方々とのつながりの中で学びを充実させていきます。
- ◆設問7（一人一人を大切にした指導）、10（いじめ防止対策）、17（教育相談）、18（危機管理）は、特に児童の安全・安心に関わる項目であり、「ウ：あまり当てはまらない」「エ：当てはまらない」の回答をいただいたことは学校の取組が至らない点と受け止め、改善を図っていきます。
- ◆設問21の「チャレンジ・ウンズデー」については、水曜日には宿題を出さず、子どもたちが自主学習や興味・関心のある物事に取り組む日としています。今回のアンケート結果からは、その意義や取り組み方を子どもたちとともにあらためて考える必要性を感じました。
- ◆よりよい学校をつくっていくためのアイディアとしてご意見を記述してくださった皆様、ありがとうございました。お寄せいただいたご意見をこの紙面で紹介することはできませんが、職員全体で共有し、次年度の教育活動の計画に役立てさせていただきます。学校がどんな願いをもってどんな取組をしているか、子どもたちの学校生活がどんな様子かが見えにくいために、ご回答が難しい設問もあったかと思います。学校が教育活動の内容やその意図、子どもたちの様子や成果・課題と考えていることなどをいっそう発信していくことが大切だと考えています。

.....

皆様のご協力に心より御礼申し上げます。今年度の残り2ヶ月、そして令和8年度も保護者の皆様、地域の皆様と力を合わせ、子どもたちの成長を支えたいと願っています。どうぞよろしくお願ひいたします。

